

3. 教育活動

平成28年度地域志向型教育研究

地(知)の拠点整備事業(大学COC事業): 火山と島嶼を有する鹿児島県の地域再生プログラム

平成28年度 地域志向型教育研究

「異文化早期体験および健康講話実施による医療系学生への地域志向教育効果」

研究 目標

島嶼地域でのフィールド調査の早期体験から、
多様な価値観および言語「方言」の理解を通じて
コミュニケーション能力の向上等の地域志向型医療人の養成への
教育効果を研究する。

対象

地域医療に興味のある医学科生、保健学科生、歯学科生の2・3年生

対象地域・宿泊施設

鹿児島県大島郡与論町
与論活性化センター

実習期間

平成28年8月21日(日)～8月25日(木)

実習施設

児玉歯科
パナウル診療所

協力

与論町住民のみなさま

指導教員

大脇哲洋(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター 教授)

根路銘安仁(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター 准教授)

網谷真理恵(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター 特任助教)

参加学生

【医学部医学科】	4名
【医学部保健学科】	1名
【歯学部歯学科】	1名

実習内容

◎医療系実習

パナウル診療所のご協力のもと、往診・外来診療の様子を見学させていただく。

◎フィールドワーク実習(方言調査)

グループごとに、パナウル診療所、または1軒の島民のお宅に訪問し、与論島住民の死生観・方言について調査する。

◎地域診断実習

観光・食事・住民との触れ合いから、与論島の文化や魅力を考察する。



与論島の海



地域診断実習



地元の方々との交流



発表の様子



発表の様子



パナウル診療所の先生と

実習の流れ

8月21日(日)

18:00 鹿児島新港出発

8月22日(月)

12:40 与論港着

16:00 パナウル診療所挨拶

8月23日(火)

午前 与論町保健センター(学生講話)

午後 児玉歯科医院

パナウル診療所

終日 地域診断研究

8月24日(水)

午前 与論町保健センター(学生講話)

午後 児玉歯科医院

パナウル診療所

終日 地域診断研究

8月25日(木)

午前 与論活性化センター掃除・後片付け

13:10 与論空港発

14:25 鹿児島空港着・解散